

平成27年第11回教育委員会会議録

日時：平成27年8月5日（水）

午前9時開会

場所：津リージョンプラザ内

第1会議室

出席委員	委員長	坪井 守
	職務代理者	庄山 昭子
	委員	松本 昭彦
	委員	滝澤 多佳子
	教育長	石川 博之

出席者	教育次長	倉田 幸則
	教育研究支援課長（兼）教育研究所長	土性 孝充

坪井委員長 平成27年第11回教育委員会を開催します。本日の議案の概要説明をお願いします。

坪井委員長 教育次長

教育次長 本日の内容でございますが、議案1件でございます。議案は、第30号 平成28年度使用中学校用教科用図書の採択についてでございます。

坪井委員長 それでは、本日の議案は、お手元の事項書のとおり、議案第30号の議案1件です。議案第30号につきましては、津市教育委員会会議規則第16条第4号の規定に該当するため非公開としたいと思いますが、いかがでしょうか。

各委員 異議なし。

坪井委員長 それでは、議案第30号につきましては、非公開と決定します。

議案第30号 平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について

議案第30号 非公開で開催

議案第30号 原案可決

坪井委員長 只今から、議案第30号 平成28年度使用中学校用教科用図書の採択について議事に入ります。前回に引き続き、種目ごとに採択を行います。なお、今回の採択をより適正に実施するために、対象となる教科書見本の内容を十分に把握するために、具体的に調査を行った津市教科用図書調査研究委員会の調査員の代表からの調査研究結果の説明を求めます。それでは、本日の予定について事務局説明をお願いします。

教育研究支援課長 本日ご審議いただく種目は、国語、書写、数学、技術・家庭で、技術家庭は技術分野と家庭分野に分かれており、5種目でございます。およその日程は、机上にございます、午前中は数学までご審議をお願いします。

坪井委員長 それでは種目ごとに採択を行いたいと思います。調査員の代表と担当指導主事の入室をお願いします。

(調査員代表、指導主事入室)

坪井委員長 それでは、国語の調査結果について報告をお願いします。

(国語の調査員会代表から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果報告)

調査員代表 調査員としましては、東書の教科書を推薦したいと思います。理由としては、次の4つがあります。1つは、発達段階や学校等での生活に応じた該当学年にふさわしい教材であるとともに、他教科や総合的な学習との関連を考慮した教材が吟味されていることです。2つは、「基礎編」や「資料編」が、巻末にまとめて配置されているので、国語科で学んだことを振り返りたいときに有効であると同時に、他教科や総合的な学習の時間にも活用することができることです。3つは、「読むこと」、「話すこと聞くこと」、「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質」の4つの学習内容のすべてを関連させて総合的に学び、相乗効果が得られるように、工夫された配置になっていることです。そして、4つは文字です。教科書全体で、書き文字に近づけた「特別な明朝体」を用いているので、読みやすく、生徒が漢字の書き方や画数を間違えることも少なくなるということです。

坪井委員長 ありがとうございます。いまの報告につきまして、委員の皆さん質問はありますか。

松本委員 国語の「読む」「書く」「聞く」「話す」の軽重に対して、何かこういう学習の仕方があるということを考えられて、採択の時に意識されたとか、物語教材に限って何か、教科書同士を比べてみたりしたことがあったらお教え願いたいのですが。

調査員代表 4領域の軽重については、以前は読むことに重点を置いていたのですが、今はバランスよく、全てのことを学習していくということになっていくと考えています。社会の変化もあると思うのですが、今は人前で話したり正しく書いて、正確に伝えたり、という力が求められていますので、読むだけではなくて、読みから言語的なことを取りだして、書いているんなことに活かしていくような力が国語の力と考えられるようになってきたと思っています。とくに文学教材を読むことに限って、意識があったのかということですが、委員にもそれぞれに好みがありますので、いいなというのはありますが、それは個人の好みなので、読ませたいということに関しては、あまり話題にはなっていません。発達段階にあっているとか、子どもの実態と離れてしまっていないか

どうかという検討はありました。

庄山委員 丁寧に説明していただいていたありがとうございました。国語は全ての教科の基礎の基礎になりますので、特に何度も説明されているのですが、総合的な学習の関連であるとか、教科との関連の視点、話すこと、聞くこと、書くこと、読むことの領域等々を考えて、他の教科書と比べてみて、先程細かく説明していただきましたが、特にこの東書の教科書が調査委員の間でよいとされた決定的な理由がありましたら、聞かせてください。私たちが見てもちよっとこれは1年生には高度だというのが1年生に入っていたりするので東書と光村あたりがそうかなと思っているのですが、その辺で最終的に東書にされたというのがあるのであれば、ポイントみたいなものを教えてください。

調査員代表 特には選定案の3番目の4つの領域がそれぞれ関連しあって学べるそれは三省堂でもそうなんです、非常にそこがうまく配置されていて、国語の教科書のある事柄だけを読み取るんだと、読み物が変わったらもう何も役に立たないというようになっては困るので、どういうものを読んだり表現したりしても役立つというのは関連性を持って学ぶというのが、一番子どもも学びやすいと考えます。そういう点ではそれが各領域に関連しながら、学んでいけるというのが、一つポイントです。それから、今の文字の表記については非常に特徴的で優れていると思います。

坪井委員長 これは東書だけですか。

調査員代表 ほかに古典教材のところで申し上げたのですが、非常に入りやすいというか、子どもにとって身近な猫の話、それからイソップ物語を最近の子は読まないかもしれませんが、そういう寓話を知っていたりすると、「それは昔からあるのか」という親しみを感じながら、古典の本題に入っていく、そういう導入の工夫があるということも考えられます。現在の作家についてはいろいろな業者も現代作家も出ていますが、入試問題でよく出される重松清さんとか、浅野あつ子さんとか、そういう現代作家も今使っている東書も入っているんですけど、今回も浅野あつさんは巻末というか教科書の一番後ろに行っていましたけど、代わりに「百科事典少女」というのが入って、前回よりも進化しているところがあると感じました。それから文法的なところで、非常に入りやすい。今使っている東書の4年前のものは、文字ばかり書いてあって結構分かりにくいのですが、今回は図で非常に視覚的に分かりやすくしてあるのと、説明の色が多彩になっています。比べると、格段に見やすく子どもたちにと

ってこれは分かりやすいだろうなと感じました。

坪井委員長 東書の良さは出していただいて、最近話す聞くとかバランスを重視している。それから、コミュニケーション能力を育てられるようなこういった視点で選ばれているのではないかと伝わってきましたが、学図なんかは少し難しいというか、このようなイメージで報告されたのですが、今この津市小中一貫ということでは、中学校は中学校だけという教科書の選び方ではなくて、小学校はどういう視点で選ばれたかという連携があると、非常に子どもたちもその辺の使い方がうまくいくんじゃないかと思います。そんな話し合いとか、小中一貫の視点でこの教科書いいねという話は出ませんでしたか。

調査員代表 委員会の中では、小学校がどの教科書会社に代えられたということが聞いていますけど、あまり中までは話し合っていない。いろんな研究会で小学校や中学校の交流で、話すことがありますけど、教科書がどんな考えで、どう採用されたか、そういう話はありませんでした。

松本委員長 これからはちょっとそういうのは必要だと思う。中学校だけの枠で検討するより、小学校の教科書がどういうものかというのも一緒にするとよりよい選択ができるのかなという気がしました。

滝澤委員 過去のことはよくわかりませんが、例えば今使っている国語の教科書は東書なのか他の会社なのか採用はこれまでどの会社が主流というのがあるのかどうか分かりませんが、もし代わったとしたらどうして今回こういうふうに代わるのかあるいは、継続して、今回と前回と一緒にであれば、どのようにさらに良くなったのか、あるいは、今まで使ってきた感想とか、聞かせていただきたい。

調査員代表 現在東書を使っていますが、その前は三省堂を使っていました。その前は長く光村を使っていると思います。光村は非常に長かったと思います。委員の先生方も多分光村で学ばれたと思います。

滝澤委員 三省堂に代わったその後さらに、東書を選ばれているということは、長く光村で三省堂に代わられたということは、何かあったと思うんですね。更に東書に代わられたのも何か理由があった。更に今回東書ですが、主な理由というのは何となく推測しますとね、光村はオーソドックスな感じで、読み物とか、落ち着いた感じがするんですよ。三省堂や東書は今の時代に合わせたよう

な感じがする。それが正しいかどうか分かりませんが、今回も引き続き東書を選択されたということは、一番大きな理由は今の子どもたちの状況を見て、それに合っているということが一つの主要なポイントではないかと、思うのですが、そういうことでどうでしょうか。

調査員代表 おっしゃるとおりだと思います。子どもたちが使ってどうだろうか、教える側も考えますけども、子どもたちにとってどうというのが考える一番のポイントです。

坪井委員長 他にどうでしょうか。どうもありがとうございました。

(調査員代表、指導主事退室)

坪井委員長 それでは、国語の教科書採択について協議を行います。事務局から調査研究委員会の状況を報告していただきます。

教育研究支援課長 調査研究委員会の場に出ていました意見としまして、総合的に判断して比較的優れているという声が出ていましたのは、ここに選ばれてきております、東書あとは、光村、それから三省堂、この3社が総合的に見てよいという意見がございました。それから、子どもの視点から見ると、三省堂もなかなか見やすいなという意見があったことと、東書はややレベルが高いという感じがありますが、先程から出ていましたが、4領域との関連とかどういった学習をするのかといったことには、ずいぶんマッチする編集になっているということに皆様納得されておりました。またそういった指導の時に、随所に見られますことばの力というコラム、例えば1年生の教科書ですと、204ページにも下にことばの力というコラムがあるんですけど、こういったものが随所に配置されているこういうことも非常にいいという御意見がありました。それから、今の時間に私が気づいたこととして一つ紹介します。先程文字の明朝体の話がございました。三省堂の方に東書だけですかという確認がありましたが、三省堂の教科書の例えば、1年生の教科書の80ページ、開けていただきますと、「漢字を身につけよう」の、上の段の一番最後の行を見ていただきますと、表彰されたという「表」という文字はこれも実際の表記になっております。ただ、しんによろの方ですが、同じ教科書の57ページの12行目をご覧ください。「おまえさんの3回宙返り」という表記があるのですが、57ページの12行目です。この「返り」を見ますと、本来の形になっていないというのが、ちょっと今私が気づいたことですが、両方とも「かたち」になっているのは、東

書ということになると思います。以上でございます。

坪井委員長 事務局からの報告に対して質問はありますか。

庄山委員 三省堂の80ページですが、しんによいですね。これは書き方のしんによくなっているんで、身につけさせようというときには意識をして、読み物であるときには、そのしんによくなっているということでしょうか。

教育研究支援課長 他のページで「あらわれる」というのを見ていたのですが、どこまでそのような統一があるのかは分かりません。

庄山委員 光村でもしんによいについては単にぼうになっているところもあるし、統一がとれているのは東書だけなのかもしれません。

坪井委員長 どの教科書も検定を通過しているんで、その地域にとって何が重要であるか。ほとんど差がないと思うのですが、今日的な課題というか、それと、地域の子どもたちの課題にどれだけあっているのかという視点で見るとなかなか難しいと思います。滝澤委員の言われるようにどういったことが選んだ理由なのか。やっぱりここで知っておかないと、何となく好みというそういうレベルでの採択では絶対いけないことなので、そのあたり、どうでしょうか。

松本委員 先程も言ったのですが、光村を見ますと、心情を考えさせられるというのが多いような感じがするのですが、今はそういう心情だけでなくて表現だとか、広い物語についても考えるようになってきて、例えば竹取物語を見ても、光村だと登場人物の思いや行動を見ましようという発問などに対して、東書では1000年たっても変わらない人間の心の在り様を捉えさせるというようになっています。現代的というか新しい視点で物語を見るというのは、東書の方がよいという気がしました。

坪井委員長 他にどうでしょうか。

庄山委員 先程も聞かせていただきましたけど、この4領域がそれぞれ別々のものではなくて、非常に総合的に関連しながら、他教科との学習にも役に立つように組み合わせられているという東書がいいのではないかなと思います。他の教科書でも総合的な学習の関連とか工夫されていると思うのですが、子どもたちの実態を考えたときに、非常に取り扱いやすい。それから1年生の文法の

部分を見ますけど、カラーになっておりまして、非常に分かりやすい。文法が子どもたちにとってネックになりますが、非常に分かりやすいかなと思います。

坪井委員長 他にどうでしょうか。

石川教育長 三省堂が捨てられなくて、理由が、今の小学校にも4領域区別していないのですが、文学と説明文、(松本委員)からも説明があったように光村は完全に分割となっておりまして、説明文という視点で東書と三省堂を比べると内容がどうなのかという視点で見っていくと、両社とも説明文の配置の仕方も違うし、内容も違うんですが、若干三省堂の方が説明文にウェイトを置いている。内容は三角論法だと、説明論理工夫に重点が置いてある。そういう意味では、三省堂はどうしても捨てられない。三省堂はそういう意味ではよい。

坪井委員長 調査研究委員会でも確か話題になったと思います。調査員の方々にとっても現場感覚で行くと、いいのではないかという感じだったと思います。以前は差のようなものを感じたのですが、最近レベルが上がってきたというか、そんな感じがする。そういう意味ではいいことだと思うのですが、確かに三省堂さんは、手塚治虫さんの作品を採り入れたり、文学的な情報を採り入れたりするなどバランス的にいいなと感じます。ただ最終的には東書というのなるほどなあとうなずきながら聞いていました。

庄山委員 他を見るとやはり東書かなという感じがします。

坪井委員長 いろいろご意見があると思いますが、全体的な意向から私もそう感じまして、国語は東書の国語の教科書を、平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することと決定してよろしいでしょうか。

参加者 異議なし。

坪井委員長 津市教育委員会として、東書の国語の教科書を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定します。

坪井委員長 次に書写の採択を行いたいと思います。調査員の代表と担当指導主事の入室をお願いします。

(調査員代表、指導主事入室)

坪井委員長 それでは、書写の調査結果について報告をお願いします。

(書写の調査員代表から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果報告)

調査員代表 調査員としては、「光村」を推薦したいと思います。その理由は、6点あります。1点目は、中学校3年間の見とおし、学習目標、学習の流れが示されていることです。その学習目標をもとに「学習の窓」を活用して学習活動に取り組み、「学習をふり返る」によって、書写への理解と技能の向上を図っております。2点目は、学習内容が見開き2ページにまとめられ、目標の把握、基礎基本の理解、確認・活用、振り返りといった学習の流れがわかりやすく、生徒自らが見通しを持って自主的に学習を進めることができるように工夫されていることです。3点目は、小学校書写からのスムーズな接続ができるように、冒頭に「基礎編」が設けられておりまして、書くときの姿勢、これも真横と正面から筆記用具の持ち方、「点画の種類と筆使い」や「字形の整え方」などが詳しく示されていることです。4点目は、毛筆の学習には、筆使いなどの注意点が朱書で添えられ、始筆と終筆、筆の運び方が図や写真等ではっきり示され、朱墨と薄墨の2色刷りとなって、大変分かりやすくなっていることです。5点目は、毛筆の手本は行書と楷書が並べられておりまして、行書と楷書の違いが理解しやすいように工夫されていることです。6点目は、各学年ともに毛筆の直後に硬筆が配置され、毛筆と硬筆の関連が図られていることです。

坪井委員長 ありがとうございます。いまの報告につきまして、委員の皆さん質問はありますか。

庄山委員 光村は、毛筆の直後に硬筆が配置され関連が図られていてよいと説明されましたが、普通書写の指導では、まず硬筆で書き、その後毛筆で書くという流れでいくのでしょうか。

調査員代表 ケースにもよりますが、学習指導要領では、毛筆は硬筆の基礎を培うということになっており、他者も含めて毛筆と硬筆の関係は図られています。限られた時間で、毛筆と硬筆の関係がより指導しやすいということで、光村の特徴の一つとしました。

庄山委員 それは、光村だけでなく他の教科書でも意識されていますか。

調査員代表 学習指導要領にある目標ですので、各社いろいろな単元で毛筆と硬筆の関係は扱われています。

庄山委員 1年から3年まで使用しますが、学習指導要領での各学年の指導内容が明確に示されていますか。

調査員代表 示されています。光村はそれが見やすく編集されています。

坪井委員長 技術的な指導以外に、文字の歴史等の扱いはどうなっていますか。

調査員代表 年間20時間程度ですから、まずは、毛筆で書く機会を確保したいと教員の思いはあります。その中で、行書を始める前に文字の歴史等をどのように指導するかということは、教員の判断になります。

坪井委員長 学習指導要領では、文字の歴史等の指導はどうなっていますか。

調査員代表 学習指導要領には特に指導目標としては記載されていません。しかし、各社ともに、書の文化や文字の美しさを学ばせる工夫がなされています。

坪井委員長 その点を比較検討されましたか。

調査員代表 検討しましたが、生徒にとっての分かりやすさ、学習目標が明確で学習の振り返りが容易であるという点に重点を置きました。

庄山委員 展覧会や学校行事に向けて、教科書にない字を書く場面がありますが、自分の力で作品を作るときに参考になる記述はありますか。

調査員代表 各社、常用漢字一覧表等の掲載があります。ただし、文字には、多様な書き方があり、子どもに混乱を招くことも考えられます。その点を分かりやすく示しているのは、光村であると判断しました。

坪井委員長 他にありませんか。ありがとうございました。

(調査員代表、指導主事退室)

坪井委員長 事務局から調査研究委員会の報告をお願いします。

教育研究支援課長 調査研究委員会では、光村の教科書が総合的に見て相応しいという調査結果に至りました。特に、光村は、指導しやすく生徒にも分かりやすいものでした。また、保護者代表からは、文字を書くという技術的なことに加え、手紙やのし袋の書き方など、実生活に役立つ内容が上手くまとめられているという意見がありました。さらに、光村にある「ノートのとめ方」は、社会人として必須のスキルを身につける上で有効であり、優れている点であると評価しました。

坪井委員長 事務局からの報告に質問はありますか。

坪井委員長 それでは、採択に向けて御意見をいただきます。

石川教育長 東書も評価できますが、少し分かりにくい。総合的に見て光村かと思います。

坪井委員長 松本委員

松本委員 技術的な点と実践場的な点で見ると、三省堂は、生活に活かそうという項目が各単元にあり、実際に使うことをかなり意識しています。光村は、巻末資料にそのような内容が記載されています。限られた授業時間で、柔軟に使用できるのは光村であると思います。

坪井委員長 滝澤委員

滝澤委員 東書は見やすい。光村は、確かによくまとまっており、指導しやすく学びやすいと思われます。行書の字体もいくつか示されているなど、漢字の表現力がよくわかるように工夫されています。やはり光村が一番優れているように思います。

坪井委員長 学習したことを活用する力を育むことが大切であり、光村は資料編などに、実際に学んだことを活用していく内容がきちんと示されていて、将来を見据えるという点でも評価できます。

滝澤委員 メールやラインだけでなく、手紙やはがきをきちんと書くことを学校で指導することは大切なことで、光村はその指導に上手く活用できると思います。

坪井委員長 それでは、これまでの議論を踏まえて、光村の書写の教科書を、平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定してよろしいですか。

各委員 異議なし

坪井委員長 それでは、津市教育委員会として、光村の書写の教科書を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定します。

(休憩)

坪井委員長 次に数学の採択を行いたいと思います。調査員の代表と担当指導主事の入室をお願いします。

(調査員代表、指導主事入室)

坪井委員長 それでは、数学の調査結果について報告をお願いします。

(数学の調査員代表から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果報告)

調査員代表 調査員としましては、啓林館の教科書を推薦したいと思います。その理由は、「みんなで話し合ってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめてみよう」といったコーナーが設けてあり、言語活動を充実させ、思考力・表現力を育成する工夫がなされた教科書作りがしてあるからです。さらに、「ふりかえり」というコーナーもあり、つまずきやすいところをもう一度振り返ることで、学力の定着にもつながります。問題練習の数も適量であると判断しました。また、別冊の「MathNavi ブック」がセットになっており、生徒自身はその別冊の説明を見ながら問題の答え合わせができるなど、非常に学習しやすく、使い勝手もよいと思います。この MathNavi ブックには、既習事項を確認する内容が記載されているとともに、活用力を育む課題も豊富に含まれているので、習熟度別にクラスを分けている場合など、生徒実態に応じて使い分けることもできます。

坪井委員長 ありがとうございます。いまの報告につきまして、委員の皆さま

ん質問はありますか。

坪井委員長 はい、庄山委員。

庄山委員 学力向上の中でも数学はポイントとなる教科ですが、子どもたちが分かった、できる、数学大丈夫と確認できるまで啓林館は問題が充実しているということですか。それと、家庭学習で今日の振り返りをするとき、分からないことが出てきたときに、教科書を見るわけですが、理解しやすい内容になっていますか。加えて、「数学の広場」を学校でどのように扱うかを教員が検討しあう場面があるのか教えて下さい。

調査員代表 啓林館の1年生132ページの比例・反比例のまとめの問題ですが、分からなかったときに、教科書のどこに戻るかが問題の右側に示してあります。問題の量も、章末問題や巻末に十分な問題があります。数学の教員が協議する場合は、各校の数学の教員同士で検討することに加え、津市の教育研究会があります。

坪井委員長 数学は積み重ねですが、小学校から中学校に進んだときに組みやすいかどうかということや家庭学習がやりやすいようなものであるかという議論についても教えて下さい。

調査員代表 啓林館では、各学年ともに1ページに、保護者向けに、教科書についての説明があります。また、1年生の導入では、正の数・負の数で、身近な話題や、ゲーム性を持たせた内容もあり、工夫がなされています。3年生の教科書に比べて字も大きく見やすくする工夫がなされています。

坪井委員長 他にありませんでしょうか。はい、滝澤委員。

滝澤委員 啓林館の特徴である、MathNavi ブックによって、より理解が進むと評価したのですか。

調査員代表 そうです。使い勝手もよいし、数学の自由研究のテーマや方法について生徒に分かり易く示しており、興味を持って考えさせる内容になっています。

滝澤委員 啓林館の MathNavi ブックは、家庭学習を意識して効果的に使用できるということですか。

調査員代表 そうです。興味を持って取り組める内容も盛り込まれています。

坪井委員長 他にありませんでしょうか。はい、(松本委員)。

松本委員 例えば、啓林館の「みんなで話し合ってみよう」とか東書の「学び合ってみよう」とか、協働で学習させるような点を比較してどうでしたか。

調査員代表 「みんなで話し合ってみよう」では、仲間と話し合うきっかけを与えることにつながります。どの教科書会社も力を入れていますが、啓林館はより分かりやすく示されています。

坪井委員長 MathNavi ブックは、授業時間外でも数学に興味を持って取り組ませるような数学の日常化という意図があり、評価できると思います。その点では、協議されましたか。

調査員代表 MathNavi ブックには、いろいろな日常的な話題が取り上げられているという話は出ました。

坪井委員長 他にないですか。丁寧に説明してもらいありがとうございました。

(調査員代表、指導主事退室)

坪井委員長 事務局から調査研究委員会の報告をお願いします。

教育研究支援課長 啓林館は、理科も別冊形式だが、見栄えとか便利さだけでなく、教科書の本来の姿を議論する必要があるということが確認されました。また、啓林館は、「みんなで話し合ってみよう」、「自分のことばで伝えよう」、「自分の考えをまとめよう」ということが各単元に明確に位置づけられていることは評価できるという意見がありました。さらに、各教科書会社ともに中1でスムーズに学習に入れる工夫がなされていますが、啓林館は全体的に説明が丁寧で、見やすく分かりやすいということです。掃除当番表や視力検査表など学校生活に結びついている題材が多く、馴染みやすいという点も評価されました。

坪井委員長 事務局からの報告に対して質問はありますか。

滝澤委員 自分の指導経験から、小学校でのつまづきが大人になっても解決されないままで引きずる場合がかなりあります。小学校の学習が定着していないと中学校の学習内容を理解することが難しいのですが、啓林館の MathNavi ブックでは、小学校の内容の確認が容易にできるように工夫されており、補助教材として使いやすく有効だと思います。小学校との連携という点では、中学校でどのようになされていますか。

教育研究支援課長 小中一貫教育として、中1の導入の指導に力をいれていますが、啓林館では、スムーズな導入に向けた工夫がされているということです。

庄山委員 数学では、ノート指導が重要ですが、啓林館では、ノートの書き方が一番整理されていると思われます。また、全体的に説明が丁寧です。

石川教育長 啓林館は、導入部分など、重要事項が丁寧に示されています。

松本委員 啓林館は、色を工夫して内容が理解しやすくなっています。家庭で、保護者が子どもに教える時も、使いやすいのではないのでしょうか。

坪井委員長 今日的な課題を意識して編集されているということが、啓林館の教科書からよく伝わってきます。これまでの議論を踏まえて、啓林館の数学の教科書を、平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定してよろしいですか。

各委員 異議なし

坪井委員長 それでは、津市教育委員会として、啓林館の数学の教科書を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定します。

(昼食休憩)

坪井委員長 それでは、技術・家庭科の採択を行いたいと思います。調査員の代表と担当指導主事の入室をお願いします。

(調査員代表、指導主事入室)

坪井委員長 それでは、技術分野の調査結果について報告をお願いします。

(技術・家庭の調査員代表から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果報告)

調査員代表 調査員としましては、東書の「新編新しい技術・家庭、技術分野未来を創る Technology」を推薦したいと思います。その理由を説明します。

まず、14ページ、15ページをご覧ください。ものづくりの手順と技術分野の学習内容が対比的によく分かるように記述されています。20ページ、21ページをご覧ください。材料と加工に関する技術について知ろう、そして、調べてみようという流れで、教科書で授業を展開するのに使いやすい構成になっています。21ページの右下「技術の匠」には、実際に生産現場で活躍している方のトピックが書かれています。90ページには、学習のまとめで、大切な用語が一覧になっているとともに、その用語をどこで学習したかが分かるようにページも記載されていますので、学習の振り返りがしやすい工夫がなされています。さらに、256、257ページには、技術分野の学習を将来に生かすために、各分野の学習が実生活のどのような所と関連があるかということが記載されており、子どもたちが、今後への見通しを持てるようになっています。

また、今回、東書と開隆堂は、防災の記述が盛り込まれました。とくに、東書は、巻末に「防災手帳」を加え、切り離して小冊子として活用できるようにしてあり、技術・家庭科の学習を日常生活における防災の取組に生かせるように工夫されています。最後に、実習を楽しく安全に進めるために、巻頭に、実習前・実習中・実習後に分類して注意喚起し、具体的な学習場面へリンクできるように工夫してあります。また、危険を回避して安全な作業を行うために、具体的な場面をイラストで表現し、禁止事項も明確に示されている。他の教科書会社も実習の際の安全面について記載してありますが、より分かりやすい構成になっております。

坪井委員長 ありがとうございます。いまの報告につきまして、委員の皆さん質問はありますか。

坪井委員長 庄山委員

庄山委員 丁寧に分かりやすく説明していただきまして、ありがとうございます。3つの教科書を同じような所をめぐりながら、それぞれの特徴的な事を説明いただきましたので、非常によく分かりました。技術・家庭もそうなんです、生涯学習につながる非常に大切な教科だと私は思っています。東書の教

科書が、中学生にむけて非常に分かりやすい教科書だと思っています。最近特に、防災について入ったと言われているんですが、コンピューター関係について最近特に非常に子どもたちを悩ましているというか、委員の先生方から見ていただきまして、こういうようなことがもうちょっと欲しかったなというような事が東書さんからそのようなところはありましたでしょうか。

調査員代表 ご指摘の部分につきまして、教図の方は、やや記述が少ないです。ご指摘の光と影の部分において使い方を誤ると、非常に影の部分がクローズアップされてしまう。光と影の両面を示しているという所で、指導の中で正しい使い方、そして誤った使い方がどのようなことを生むかということをご指導できる点で、東書が適切だと思います。

坪井委員長 他に、いかがでしょうか。はい、滝澤委員。

滝澤委員 初めてなので、教えていただきたいんですけど、この技術分野は、男女とも同じように学習するのかということと、1年・2年・3年この1冊でやるのかということ、それから教える順番ですが、1章・2章・3章とやるのか、1章に関連する例えば4章も見て横断的に、教えるのか学年別あるいは男女比重があるのかというのを教えてもらいたいと思います。

調査員代表 男女共習、男女同じ場所で、同じように学習しております。それで、この技術の1編から4編までは学校の実状とかを考えまして、順番につきましては変わります。1編を学習している中で、他の編が関連する事がございます。それも教科書の中にリンクというような形で示されております。男子と女子の学習の比率は等分でございます。

滝澤委員 それに関連して、1章に関連して4章と学習するのであれば、東書さんがやりやすいかと思います。

調査員代表 リンクという形で示されておりますが、実際に指導場面ではそうとんだりすることはございません。たまに、関連項目を見るぐらいでございますので、ほぼ、教科書どおりの記述に即して学習しております。

滝澤委員 どこから始めるかも、学校にまかされているのでしょうか。

調査員代表 そうでございます。少し具体的にお話しさせていただきます。情報に関する技能、中学校に入った段階ですぐに習得させたい場合にはコンピュ

一ターの第4章をさきにさせることもあります。また、3編の栽培育成の分野に関しましては季節を伴いますので、その季節毎に取り上げながら、その間に材料を確保したりしながら準備をするなど各編に平行して進めるという方法もございます。

坪井委員長 はい、松本委員。

松本委員 東海地方や県内で特有の技術を紹介されている所は、ないのでしょ
うか。

調査員代表 確か全国的な形で紹介されておりました。

松本委員 この教科書のこういうところというのはなかったでしょうか。

調査員代表 他者もあるのですが、24・25ページをご覧ください。これは
発展的な学習で、「技術の扉」というところなのですが、木材の特徴を写真で示
し、年輪まで勘定できるくらいはつきりと示されております。

坪井委員長 量の点で質問させていただきたいのですが、東書はAB版で、か
なりの情報量が入っていると思うのですが、そのことが生徒にとっていいのか、
指導者にとっていいのか、そういう議論がどうあったのか。また、本文が明朝
体で、資料になるとゴシック体になっていますが、これは定番なのでしょう
か。

調査員代表 一つ目の情報量に関しては、東書は非常に多いです。授業で活用
する。そして子どもが自学自習で使う。教科の学習を離れて、こんなことを学
習したなど繰り返しながら使う。または、テストのとき、まとまった学習に使
う。そういったことを総合的に考えますと、多すぎるということはなく、効果
的に使うことができると考えられます。それから、フォントに関しましては、
特別支援教育の観点からも、明朝体の字が一番見やすいという評価がされてい
て、ユニバーサルフォントといわれております。ゴシック体になりますと、ど
うしても字が小さくなりますので、それを補うためにゴシック体は字が太いで
すのでそういう部分を補うためにゴシック体になっていると推測されます。

坪井委員長 防災に関わった手帳というのは、知識の伝達だけではなく、いか
に生かしていけるか。非常に、発展的でいいと思うのですが、メリットはあり
ますか。

調査員代表 住まいの防災ということで、単元を学習する中で取り入れて活用していくことが大事だと思いますし、家具を固定するという実践例も発表されています。

坪井委員長 他にいかがでしょうか。ないようですので引き続き、家庭のほうでご報告いただけますでしょうか。

(技術・家庭の調査員会部長から、「平成28年度使用中学校用教科用図書調査報告書」に沿って、調査結果報告)

調査員代表 調査員としましては、東書の「新編新しい技術・家庭、家庭分野自立と共生を目指して」を推薦したいと思います。その理由を説明します。6ページ、7ページをご覧ください。実習を楽しく安全に進めるために、巻頭資料で、実習前・実習中・実習後に分類して注意喚起し、具体的な学習場面へリンクできるように工夫してあります。その中で、基本である手の洗い方も丁寧に示しています。さらに、危険を回避して安全な作業を行うために、具体的な場面をイラストで表現し、禁止事項も明確に示されていたり、各編で、「安全マーク」「衛生マーク」をつけて安全面や衛生面での配慮事項がわかりやすく示されています。全体的に安全面の指導が行いやすい構成となっています。22ページ、23ページをご覧ください。「考えよう」「工夫しよう」とタイトルがつけられており、学習のねらいを意識させることができます。さらに、他教科及び道徳との関連や、小学校での既習事項との関連がわかりやすく示され、系統のかつ教科横断的に学習が進められるように工夫されています。また、「ひとくち Q&A」のコーナーを設けて、クイズ形式で学習が深められるように工夫されていたり、例えば、計量カップや包丁の使い方などの基礎技能が、別立てで、写真やイラストを使ってわかりやすく示されていたりします。巻末には、大切な用語が一覧になっているとともに、その用語をどこで学習したかが分かるようにページも記載されていますので、学習の振り返りがしやすい工夫がなされています。また、「生活を支える技術」がわかりやすく示されており、技術・家庭科の目標を再確認できるように工夫されています。最後に、大きさがAB版であるので、紙面が広くて見やすく、生徒が興味・関心を持って、自主的・自発的に活用できるように写真が効果的に配置されています。以上です。

坪井委員長 今回の報告に対して質問はございますか。

庄山委員 中学校3年生で生徒たちは自立していくという視点から質問をさせ

ていただきます。多くの子どもたちは高校・大学へ行くわけですが、とりあえず義務教育は終わりということで、中学校の終わりでは指導しておきたい内容としましては、消費者トラブルの分野があると思うのですが、最近インターネットで様々なものを購入したり、カードで支払いしたりしているのですが、東書では載っているページがあったのですが、大体どの辺にそういうことが載っていて、どのような内容であるのか、教えていただきたいと思います。

調査員代表 消費者トラブルは大事な分野だと思っています。開隆堂は 227 ページにトラブルの対応が。教図の方は 246 ページにトラブルの解決がございまして、今見ていただいているような内容になっております。

坪井委員 他にありますでしょうか。ないようでしたらこれで終わります。ありがとうございました。

(調査員代表、指導主事退室)

坪井委員長 それでは、技術・家庭の教科書採択について協議を行います。事務局から調査研究委員会の状況を報告していただきます。

教育研究支援課長 調査研究委員会の方からも、3者と比較しながら、のこぎりの形状を例にとりながら3者のうち教図が評価されない部分が若干多いことが伝わってきました。東書と開隆堂という形で見比べていきますと、サイズのことが出ていました。サイズを大きくしたことがうまく活用されていることで、子どもたちの意欲がわいてくるような紙面構成になっているという声をいただきました。防災手帳のことも話題になりまして、家に持ち帰って家の人と見ることができるといことでいいのではないかと声をいただきまして、調査委員の東書という意見に納得されていまして。

坪井委員長 質問のある方、どうでしょうか。はい、滝澤委員。

滝澤委員 私は、3つの教科書比較しやすいのですが、基本的には東書が納得できるなど思っております。逆に教図は、比較では、もう少し中身を工夫させてもいいのではないかと感じます。他の方はどうでしょうか。

庄山委員 私も、中学生の発達段階を考えますと、東書がよいかと思います。一つだけ、調理実習のときに、ガスの器具だけのように思うのですか、今の状

況では4割ぐらいがオール電化のような気がするのですが、そのようなことに触れてあってもよいのではないかと思うのですが。

坪井委員長 今後の教科書会社への要望ということですね。

石川教育長 技術も家庭も会社によって性格がよく出ますが、開隆堂は情報の中身が盛りだくさんになってきたところへ、東書が大きくなったところでだんだん追いついてきた。どう考えても子どもたちに適量なデータかという点、東書かなと思います。技術・家庭両方とも東書がいいと思います。

松本委員 中身はあまり関係ないかもしれませんが、東書を開いたすぐのところで、宇宙教材があって、これは親しみやすいと思うのですが、そういう著作権があるみたいなのがついていることは、問題になったりはしませんでしょうか。

教育研究支援課長 教科書会社がきちっと配慮していると考えています。例えば、過去においても鉄腕アトムを使ったところもありまして、そういうところはすべて作成する段階できちんと必要な手続きを取っておりまして、検定という以前にきちんとされているという認識でおります。

坪井委員長 では、大体出尽くしたように思いますので、技術家庭におきましての技術分野で、東書の技術家庭における技術分野を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択してよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

坪井委員長 それでは、津市教育委員会として東書の技術家庭における技術分野を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定いたしました。

坪井委員長 続きまして、東書の技術家庭における家庭分野を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択してよろしいでしょうか。

各委員 異議なし。

坪井委員長 それでは、津市教育委員会として東書の技術家庭における家庭分

野を平成28年度使用中学校用教科用図書として採択することを決定いたしました。どうも御苦労さまでございました。事務局から何かありますか。

教育研究支援課長 今から私の方で種目ごとに確認させていただきます。国語は東書、書写は光村、社会科の地理分野は帝国、歴史分野は日文、公民分野は東書、地図は帝国、数学は啓林館、理科は啓林館、音楽の一般は教芸、器楽合唱は教芸、美術は日文、保健体育は東書、技術家庭の技術分野は東書、技術家庭の家庭分野は東書、英語は、東書でございます。以上15種目でございます。ありがとうございました。

坪井委員長 教科書採択に関わって、次回に向けて何かありましたら、お願いします。

庄山委員 本年度の採択の方法は非常によかったと思います。それぞれの委員会の代表の方が、説明していただきましたので、その委員会の雰囲気的なものがわかり非常にいい方法であったと思います。

坪井委員 やはり、津市としては小中一貫教育を進めていますので、特に中学校の採択のときには、小学校の先生に入ってくださいといいのではないのでしょうか。その辺を、今回は指導主事の方がフォローしていただいているのかなあと思いますが、次回はよろしくお願いします。

滝澤委員 本当に分量の多いところを詳しく読んで報告いただいてありがたいと思うのですが、特に社会科の責任者は一人なんでしょうか。仕事とはいえ、負担が多いように思うのですが、その辺はどうでしょうか。

教育研究支援課長 調査員のメンバーの数自体は増やしてはいるのですが、地理・歴史・公民・地図があり、非常に負担が大きいということで、今回も部長等から要望が出ていますので、検討はしていかなければならないと考えています。

坪井委員長 ではこれで終わらせていただいてよろしいでしょうか。これをもちまして、第11回教育委員会を閉会します。